

国際生物学オリンピック日本委員会
委員長 道上 達男

第35回国際生物学オリンピック日本代表決定

～ カザフスタン共和国／アスタナで開催される国際大会で、世界の仲間と生物学を深める ～

国際生物学オリンピック日本委員会(委員長:道上 達男)は、2024年7月7日から14日までの8日間、カザフスタン共和国／アスタナで開催される第35回国際生物学オリンピックに派遣する日本代表4名および次点者2名を決定しました。

日本代表および次点者は、全国3,255名の受験者から三次にわたる試験を経て選ばれました。今後、大学教員や専門家も交えた国際生物学オリンピック日本委員会・プロジェクトチームによる特別教育を受け、7月の国際大会に臨みます。

第35回国際生物学オリンピック 日本代表(五十音順)

氏名	フリガナ	性別	在学学校(所在地)	学年
櫻井 大聖	サクライ タイセイ	男	久留米大学附設高等学校(福岡県)	高3
永田 駿平	ナガタ シュンペイ	男	栄光学園高等学校(神奈川県)	高2
日吉 雪乃	ヒヨシ ユキノ	女	東京都立小石川中等教育学校(東京都)	高2
松井 大輝	マツイ ダイキ	男	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校(神奈川県)	高2

同 次点者(五十音順)

次点者2名は日本代表4名とともに代表団として同じ特別教育に参加し、日本代表に参加できない事由が発生した際には代わって国際大会の日本代表となります。

氏名	フリガナ	性別	在学学校(所在地)	学年
畔上 真歩	アゼガミ マホ	女	渋谷教育学園幕張高等学校(千葉県)	高3
岩下 佳生	イワシタ カイ	男	筑波大学附属駒場高等学校(東京都)	高3

国際生物学オリンピックは、世界の中等教育学校の生徒を対象にした生物学の国際的なコンテストです。生物学への関心を高め、参加者の才能を開花させるとともに、各国の生物学教育について情報を交換したり、生物学を学ぶ若者の国際交流を促進するために毎年開催されています。1990年の第1回大会(旧チェコ・スロバキア/オロモウツで開催)から数えて第35回となる2024年の国際大会はカザフスタン共和国／アスタナで開催されます。

日本代表の抱負

櫻井 大聖 久留米大学附設高等学校(福岡県)

日本生物学オリンピックへの出場を決意してから約1年間、日本代表であった2人の先輩の背中を追いかけて、努力してきました。まずは世界の舞台上、たくさんの生物好きと関わること、より高度なことを学べることを、心の底から楽しもうと思います。そして自分の出せる力を最大限発揮し、悔いのない結果で終わればいいなと思います。

永田 駿平 栄光学園高等学校(神奈川県)

日本代表に選出していただいたことを大変うれしく思っています。
国際大会で結果を出せるようにさらにスキルアップしていくとともに、この貴重な機会を今後活かせるよう精一杯努めていきます。

日吉 雪乃 東京都立小石川中等教育学校(東京都)

ずっと憧れていた国際大会の舞台上に立てることを、大変嬉しく思います。支えてくださった全ての皆様に感謝申し上げますとともに、この貴重な機会を精一杯楽しみ、日本代表としてよい結果を残せるように尽力して参ります。

松井 大輝 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校(神奈川県)

目標としていたステージに立つことができ、大変嬉しく思います。一度しかないこの機会を楽しみつつ、国際大会で日本代表の名に恥じぬ活躍ができるように精進していきたいです。

<問い合わせ先>

国際生物学オリンピック日本委員会 (JBO)

総務担当：鳩貝

東京都千代田区北の丸公園2番1号科学技術館内

E-Mail : jbo@jsf.or.jp URL : <https://www.jbo-info.jp/>

公益財団法人日本科学技術振興財団 人財育成部 橋山

TEL 03-3212-8518 FAX 03-3212-7790

参考資料

■ 国際生物学オリンピック(International Biology Olympiad : IBO)について

国際生物学オリンピック(IBO)は生物学に関心を持つ中等教育学校の生徒を対象とした国際的なコンテストです。

- ・生物学の問題や実験に挑戦し、生物学への興味と創造性やねばりづよさを競う。
- ・参加する生徒の能力を伸ばし、科学者への道に導く。
- ・生物学を学ぶ生徒どうしの国際的交流の機会をあたえる。
- ・生物学教育に関するアイデアと教材の国際的な交換を推進する。

これらを目的に 1990 年に旧チェコ・スロバキアのおロモウツで第 1 回大会が開催されて以来、毎年開催国を持ち回りにより開催されています。

コンテストは、生物学に関する理論課題試験と実技課題試験によって競われます。また、それだけでなく、参加者同士の国際的交流をはかることも重要な要素とされています。毎年 7 月に開催される大会には、各々の国内選考を経て選ばれた 4 名の代表生徒と引率役員が各国・地域から参加します。

■ 国際生物学オリンピックにおける日本代表の成績

開催年	開催数	開催国	開催期間	参加国地域	参加者数	日本代表(4名)の成績
2005年	第16回	中国／北京	7月10～17日	50	198名	銅メダル 2名
2006年	第17回	アルゼンチン／リオクアルト	7月9～16日	47	198名	銅メダル 3名
2007年	第18回	カナダ／サスカトゥーン	7月15～22日	49	192名	銀メダル 1名 銅メダル 3名
2008年	第19回	インド／ムンバイ	7月13～20日	55	220名	銀メダル 3名 銅メダル 1名
2009年	第20回	日本／つくば	7月12～19日	56	221名	金メダル 1名 銀メダル 3名
2010年	第21回	韓国／昌原(チャンウォン)	7月11～18日	58	233名	金メダル 1名 銀メダル 3名
2011年	第22回	台湾／台北	7月10～17日	58	229名	金メダル 3名 銀メダル 1名
2012年	第23回	シンガポール	7月7～14日	59	234名	銀メダル 4名
2013年	第24回	スイス／ベルン	7月14～21日	62	240名	金メダル 1名 銀メダル 3名
2014年	第25回	インドネシア／バリ島	7月6～13日	61	239名	金メダル 1名 銀メダル 3名
2015年	第26回	デンマーク／オーフス	7月12～19日	61	239名	金メダル 1名 銀メダル 2名 銅メダル 1名
2016年	第27回	ベトナム／ハノイ	7月17～24日	68	263名	金メダル 1名 銀メダル 3名
2017年	第28回	イギリス／コヴェントリー	7月23～30日	64	241名	銀メダル 4名
2018年	第29回	イラン／テヘラン	7月15～22日	71	269名	銀メダル 2名 銅メダル 2名
2019年	第30回	ハンガリー／セゲド	7月14～21日	72	285名	銀メダル 2名 銅メダル 2名
2020年	第31回	日本/東京・オンライン開催	8月11～12日	53	202名	金メダル 1名 銀メダル 3名

2021年	第32回	ポルトガル／リスボン・オンライン開催	7月19～22日	76	304名	銀メダル 1名 銅メダル 3名
2022年	第33回	アルメニア／エレバン	7月10～18日	62	237名	金メダル 1名 銀メダル 1名 銅メダル 1名 優秀賞 1名
2023年	第34回	アラブ首長国連邦／アルアイン	7月3～11日	76	293	金メダル 2名 銀メダル 2名
2024年	第35回	カザフスタン共和国／アスタナ	7月7～14日	https://www.ibo2024.kz/		

■ 日本生物学オリンピック 2023（今回の日本代表が選ばれた国内大会）

国際生物学オリンピック日本代表選考を兼ねる「日本生物学オリンピック」は、20歳未満で大学入学前の青少年を対象とした、全国規模の生物学に関するコンテストです。日本生物学オリンピック 2023 は、予選を全国 113 会場での対面試験、本選を静岡大学静岡キャンパスで開催し、12 名の代表候補者を選出しました。その後、12 月末に東京大学駒場キャンパスで特別教育を実施し、代表選抜試験で代表 4 名と次点者 2 名を選抜しました。

	日程・会場等	対象
予選 リモート試験	日程: 2023年7月16日 会場: 全国113会場にて対面試験	受験者数 3,255名
本選	日程: 2023年8月17日～20日 会場: 静岡大学静岡キャンパス(静岡県静岡市)	予選の成績で選ばれた80名
代表選抜試験	日程: 2024年3月17日 会場: 科学技術館(東京都千代田区)	本選試験で選ばれた12名

■ 日本生物学オリンピック 2024(次回の国際大会日本代表選考を兼ねた国内大会)

2025年7月にフィリピン共和国で開催される第36回国際生物学オリンピック日本代表選考を兼ねる日本生物学オリンピック 2024 は、5月1日より参加申し込みを受け付けます。

詳しくは、ウェブページでご案内しています。JBO ウェブページ: <https://www.jbo-info.jp/>

	日程・会場等	参加対象
予選 リモート試験	日程: 2024年7月14日 会場: CBTによるリモート試験	20歳未満で大学等に入学する前の、おもに高校生・中学生
本選	日程: 2024年8月25日～28日(3泊4日) 会場: 熊本大学黒髪南地区(熊本県熊本市)	予選の成績で選ばれる約80名
代表選抜試験	日程: 2025年3月16日 会場: 科学技術館(東京都千代田区)	本選までの成績で選ばれる約12名

■ 国際生物学オリンピック日本委員会(Japan Biology Olympiad Committee: JBO)

国際生物学オリンピック日本委員会は、日本国内において日本生物学オリンピックを開催し、国際大会に派遣する日本代表を選考するための三次にわたる試験を行うとともに、日本代表団を組織し、国際

大会へ引率派遣しています。日本生物学オリンピックでは先端的な生物学研究にふれる機会を提供するなどして、高等学校等の生徒に対し、生物学への興味喚起と知識の普及を図りつつ、広く科学技術一般への関心の向上と理解の増進を推し進めています。日本代表生徒の国際大会への参加体験は、将来の日本の科学技術を支える人材の育成にも役立つと期待しています。さらに、教育関係者の国際的な交流を促進し、日本の生物学教育の充実・発展に寄与することも同時に目指しています。

以上